

平成31年2月26日

富山市議会議長 横野 昭 様

富山市議会まちづくりと公共交通対策特別委員会
委員長 村 家 博

まちづくりと公共交通対策特別委員会調査報告書

本特別委員会に付議された事件について、調査が終了しましたので、富山市議会委員会条例第35条の規定により、次のとおり報告します。

1 調査事件

まちづくりに関する調査及び公共交通の整備・促進に関する調査

2 調査の経過

急速な少子・高齢社会の進行や本格的な人口減少、CO₂排出量の増大など、都市を取り巻く諸課題への対応が必要となる中、本市では公共交通を活性化させ、都市機能や生活基盤をその沿線に集積する「拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を推進している。

本特別委員会は、平成18年9月定例会最終日に、本市議会としてまちづくりに関する調査・研究及び公共交通の整備・促進に関する調査・研究を専門的に行うために設置された。本特別委員会では、設置以来、本年2月までに延べ54回の特別委員会を開催したほか、延べ26市の先進地視察を実施するなどして、所管する事務の調査を行い、理解を深め、所管部局との協議等を通じて、本市のまちづくりと公共交通の発展に寄与してきた。

※特別委員会開催及び先進地視察経緯については、別添資料のとおり

3 調査結果

ここで、本特別委員会として、これまでの調査を（1）本市が目指すコンパクトなまちづくり、（2）公共交通の活性化、（3）地域拠点の活性化、（4）公共交通沿線への居住推進の大きな4つの視点に分け、それぞれ（ア）本市の取組み状況、（イ）これまでの協議事項、（ウ）委員からの主な意見、（エ）委員会からの提言について、以下検証を記す。

（1）本市が目指すコンパクトなまちづくり

（ア）本市の取組み状況

都市の諸課題に対応するため、平成20年3月、まちづくりのグランドデザインとなる「富山市都市マスタープラン」を策定した。

都市マスタープランでは、まちづくりの理念を「鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることによる、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」とし、地域の拠点を「お団子」に、公共交通を「串」に見立てた「お団子と串」の都市構造を目指している。

また、都市マスタープランの理念に基づいて、都市機能が集積した「お団子」を形成するため、「中心市街地活性化基本計画」や「富山市住生活基本計画」を策定するとともに、「串」の形成には「公共交通活性化計画」を策定し、コンパクトなまちづくりを推進している。

さらに、コンパクトなまちづくりの考え方を市の最上位計画である総合計画や福祉関連計画にも位置づけ、全市的にコンパクトなまちづくりに取り組んでいる。

(イ) これまでの協議事項

- ・富山市公共交通活性化計画について
- ・富山市都市マスタープランについて
- ・第1期富山市中心市街地活性化基本計画について
- ・富山市景観形成基本計画について
- ・環境モデル都市について
- ・景観計画について
- ・市街化調整区域の地区計画運用基準について
- ・第2期富山市中心市街地活性化基本計画について
- ・富山市住生活基本計画について
- ・富山高岡広域都市計画区域について
- ・OECD・富山市「都市の国際ラウンドテーブル～高齢社会におけるレジリエントな都市～」について
- ・富山南都市計画区域について
- ・富山市中心市街地地区地区計画について
- ・富山市立地適正化計画について
- ・富山市地域公共交通網形成計画について
- ・新富山市中心市街地活性化基本計画について
- ・富山市公共施設マネジメントアクションプランについて

(ウ) 委員からの主な意見

富山市都市マスタープランについて

・コンパクトシティ政策は公共交通が便利な地域に誘導していくものだが、中山間地にも人が住み続けられるような施策が必要である。近年、豪雨災害などがあり、中山間地で農業や林業に携わりながら暮らしていく方がいなくなると本当に大変なことになると思う。歩きたくなるまちづくりだけではなく、産業、農業、林業を維持していく政策が必要である。

富山高岡広域都市計画区域について

・東富山駅地区と呉羽駅地区は第一種住居地域となっているが、良好な住環境という面では、より規制の厳しい第一種低層住居専用地域が望ましい。

富山市立地適正化計画について

・「広域的な都市機能」の中には、教育文化機能や商業機能などがあるが、「日常生活に必要な機能」の中には、文化施設などがない。住民の文化活動の拠点となる機能も「日常生活に必要な機能」の中に盛り込んでいく必要がある。

・これまで富山市が中心施策として進めてきた公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりは、一定の成果を上げてきた。これからもこの施策をぜひ強力で推進していくべきである。「お団子と串」の政策が進められ、中心部の団子はよくなったが、周辺部の団子はいかがなものかと思う。中心市街地の団子ほど大きくならなくても、各地域拠点がそこそこの団子になるようにされたい。

・文化的な生活を営むためのある程度の文化施設は、一定程度の文化水準にするために必要になってくる。文化面のことももう少し細かく位置づけていかないと、本当の意味でのいい立地適正化計画にはならない。文化的な視点などについて、他の部局と意見交換などをされたい。

・旧村地域においては、立地補助や既存の店舗にコンビニを併合させる補助、既存の店舗から移動販売に出ること、コンビニプラス移動販売もできるようにすれば、都市機能の誘導がより生きてくるのではないか。

富山市地域公共交通網形成計画について

・「お団子と串」に基づくコンパクトシティのまちづくりを強烈に進めることによって、「お団子と串」にならない地域が過疎化するということが、現実に旧富山市内でも既に出てきている。ただ単に「お団子と串」のコンパクトシティづくりだけで進むと、非常に不公平な富山市になっていくことが懸念される。既存のバス路線も守って、そこで生活する人たちの利便性も考えていかなければならない。

新富山市中心市街地活性化基本計画について

・中心市街地でのにぎわいづくり、まちづくりにおいては、大学生などいろいろな団体との連携といった観点も必要である。市民との協働ということで、活性化やまちづくりについてのプレゼンを市民の皆さんができるようにしていただきたい。

富山市公共施設マネジメントアクションプランについて

・限られた予算の中ではあるが、何でもかんでもなくしていくということではなく、何とか維持していくという考え方の中で、削減、廃止という考え方を持っていただきたい。

・長い期間の計画であるので、将来的に見て、若い世代の方たちに積極的にかかわっていただけるような形で意見の集約をしていただきたい。

・山田地域の過疎化が進んでいることから、山田地域のにぎわいの計画などを立てる必要

がある。

(エ) 委員会からの提言

本市が推進する「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」については、持続可能なまちづくりの先進モデルとして、国内のみならず、国外からも高い評価を受けており、今後の人口減少時代にマッチしたものとする。

地域の拠点に含まれていない郊外や中山間地等に住む市民にも配慮しながら、引き続き本市のまちづくりの基本政策として、鋭意取り組まれない。

(2) 公共交通の活性化

(ア) 本市の取組み状況

地方における公共交通を取り巻く状況は大変厳しく、地方都市の輸送密度では、交通事業者が建設から維持・管理・運営に係る費用を運賃収入のみで賄い、安定した運行を行うことは、困難な状況にあるが、公共交通の存在は、通勤、通学、買い物などの生活の足の確保はもちろん、高齢者の外出機会の創出や温室効果ガス排出の削減など、今後のまちづくりに必要なまちの装置として大変重要になっている。

本市では、公共交通の活性化を、コンパクトなまちづくりを実現する最も重要な手段として各計画に位置づけ、まちづくりの観点から必要なものについて行政が積極的に関与し、交通事業者等との協働により活性化を図っている。

(イ) これまでの協議事項

- ・市内電車環状線化について
- ・JR高山本線活性化について
- ・公共交通でおでかけウィークエンド事業について
- ・富山市コミュニティバス等の再編について
- ・富山地方鉄道上滝線活性化について
- ・富山地方鉄道交通ICカードについて
- ・まいどはやバスについて
- ・上滝線活性化基本計画について
- ・公共交通利用促進啓発事業について
- ・路面電車の利用促進について
- ・富山地方鉄道不二越・上滝線増便社会実験について
- ・富山県並行在来線について
- ・JR高山本線婦中鵜坂駅について
- ・中町（西町北）停留場について
- ・とやまレールライフ・プロジェクトについて
- ・コミュニティバス等再編アクションプランについて
- ・北陸新幹線開業前後における公共交通等の利用状況について

(ウ) 委員からの主な意見

まいどはやバスについて

- ・まいどはやバスは、パターンダイヤが大事である。
- ・朝8時半ぐらいから回せば、通勤で利用する方もいるので、さらなる利用者増につながるのではないかと。
- ・まいどはやバスの車体の色はシルバークルーでとてもおしゃれな感じだが、割と渋い色で、まちなかを走っているときに目立ちにくい。高齢者の方でもバスが来たとわかりやすいように明るい色にしてほしいという要望もあるので、デザインが変わったばかりではあるが、ぱっと見てすぐにわかるように、今後さらに検討されたい。
- ・20分間隔よりもライトレールのような15分間隔のほうがいい。どこで乗っても長いなどいらせずに乗れるように、1周を25分や30分など、もう少し短い時間で回れるようにして、ルートをもう1本、2本増やせば、利便性が上がるのではないかと。

とやまレールライフ・プロジェクトについて

- ・子どもが最初に公共交通を利用するときはお父さんやお母さんと一緒に利用すると思うので、子どもたちがお父さんやお母さんと一緒に考える機会があるとよい。小学校において公開授業を実施しているが、授業参観で取り上げてみてはどうか。

コミュニティバス等再編アクションプランについて

- ・運行サービス水準の平準化とあるが、コミュニティバスは、交通弱者やお年寄りにとって非常に大事な交通機関であり、地域ごとに状況が異なるため、全ての地域を平準化するのではなく、それぞれの地域に応じたアクションプランを考えていただきたい。

(エ) 委員会からの提言

本市の都心と地域拠点を結ぶ「軸」となる公共交通機関については、富山港線路面電車化や、JR高山本線新駅設置等のハード整備に加え、交通系ICカード「eomyca」の導入や、とやまレールライフ・プロジェクトなどの市民意識啓発等、さまざまな利用促進施策を同時並行で実施することにより、地域差はあるにせよ、徐々に市民の日常の足として認知されてきていると思われる。

今後も路面電車の南北接続、富山地方鉄道不二越・上滝線の路面電車乗り入れ検討等の事業に着実に取り組み、市民が利用しやすい、利用したくなるような公共交通のより一層の活性化を図られたい。

また、民間での交通サービスの提供が難しい地域の生活交通の維持・確保についても、地域の特性に応じた施策に取り組み、市民生活に不便が生じることのないよう努められたい。

(3) 地域拠点の活性化

(ア) 本市の取組み状況

本市ではコンパクトなまちづくりの実現に向け、串（公共交通）の活性化とあわせて、

お団子（徒歩圏）の形成を推進している。お団子（徒歩圏）では、居住、商業、業務等の都市の諸機能を集積させ、日常生活に必要なサービスを身近に享受できる「歩いて暮らせるまち」の実現を目指している。

（イ）これまでの協議事項

- ・賑わい横丁整備運営事業について
- ・グランドプラザ整備事業及び総曲輪通り南地区市街地再開発事業について
- ・おでかけ電車について
- ・富山駅南北一体的なまちづくりについて
- ・松川・いたち川等水辺空間活用方策検討懇話会について
- ・富山駅周辺整備事業について
- ・水辺空間賑わい創出事業について
- ・富岩運河における学習支援船について
- ・中心市街地地区まちづくり交付金事業について
- ・総曲輪ファッションビル（ウィズビル）の活用について
- ・富山駅周辺地区土地区画整理事業について
- ・富岩水上ラインについて
- ・おでかけ定期券について
- ・北陸新幹線整備事業について
- ・大規模建築行為等の届出・助言指導について
- ・路面電車の南北接続事業について
- ・「富山でしかできないこと」事業について
- ・健康まちづくり推進事業について
- ・富山駅南北自由通路等利活用について
- ・まちなかクリエイティブ産業立地促進事業補助金制度について
- ・富山市における建築物に附置する駐車場施設に関する条例について
- ・富山駅付近連続立体交差事業について
- ・高齢者健康増進端末機研究開発事業について
- ・富山駅の南西街区における水産物販売等社会実験について
- ・道路空間を活用した賑わい創出事業について
- ・大手モールフェス及びトランジットモールについて
- ・富山市都市機能立地促進事業について
- ・富山駅南西街区の利活用について
- ・高齢社会における交通と健康モニタリング調査事業について
- ・（株）富山市民プラザと（株）まちづくりとやまの統合について

（ウ）委員からの主な意見

大手モールフェス及びトランジットモールについて

- ・アンケート結果では、近隣商店の売上は「変わらない」が半分であったが、今回の社会

実験を1回限りにするのではなく、近隣商店等いろいろな人と話をして、人々に中心街に来てお金を消費していただくことによって、本市の経済を盛り上げていかなければならない。

・大手モールフェスと富山駅南のイベントをもう少し広域的に取り組めば、もっと来場者を増やすことができるのではないか。

富山駅南西街区の利活用について

・お土産も含めていろいろな販売をされるのであれば、富山市の窓口となる場所であり、富山をPRできる最大の場所であるので、県外からお見えになる方には、ぜひ地元の地場産品、富山のおいしいものをということで、できれば契約する業者は地元の業者がいいのではないか。

・今の駐車場は駅を一時的に利用する方にとって非常に便利だが、工事期間中は当然使用できなくなるので、その期間に駐車場不足で不便にならないように、代替駐車場の話も含めて十分に協議をしていただきたい。

・今の駅前のアンテナショップのさかな屋撰鮮は市場的で、富山市として非常にPRできるので、できれば市として代替地を用意して、引き続き継続していけるようにしていただきたい。

高齢社会における交通と健康モニタリング調査事業について

・おでかけっちを携帯したことによってたくさん歩くようになったといういい話もあるが、どういった目的で中心市街地に行ったのか、また、滞在した場所などをしっかり分析して、さらに活性化できるような対策を練っていくところまでやって初めて成果が出てくるので、さらなる分析を推し進めていただきたい。

(工) 委員会からの提言

公共交通の活性化とともに、地域拠点、特にお団子の核である中心市街地地区でのさまざまな取組みが進められており、とりわけ、北陸新幹線の開業を契機とした富山駅周辺整備については、現在進行形ではあるが、路面電車の南北接続事業や、南北・東西自由通路の整備、にぎわいを創出する多目的利用が可能な南口・北口駅前広場の整備等、南北一体的なまちづくりを実施され、事業完了時の効果が非常に期待される。事業の進捗に支障が出ることはないように着実に整備を進められたい。

また、おでかけ定期券は高齢者が手軽に中心市街地地区へ移動できる、非常に好評な事業である。引き続きの継続を望むとともに、市民がより利用しやすい事業となるよう、定期的な効果検証を行われたい。

さらには、「GPネットワーク」や「街なかメイクアップサポーター」等、住民が主体となってまちづくりにかかわる機運が高まっていると感じられる。この動きが消えることのないよう、市としてサポートされたい。

(4) 公共交通沿線への居住推進

(ア) 本市の取組み状況

市内中心部の「都心地区（まちなか）」（約436ha）や、公共交通軸の鉄軌道駅から500m及びバス停から300mの範囲の「公共交通沿線居住推進地区」（約3,391ha）においては、良質な住宅建設を行う事業者や住宅を購入する市民に対し助成を行い、緩やかに居住や都市機能を誘導することでコンパクトシティ化を図っている。

(イ) これまでの協議事項

- ・公共交通沿線居住推進事業について
- ・市街地再開発事業について
- ・まちなか居住推進事業について
- ・西町南地区市街地再開発事業について
- ・西町南地区公益施設（ガラス美術館・図書館本館）整備事業について
- ・山室第2土地区画整理事業について
- ・コンパクトなまちづくりに伴う人口動態について
- ・コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査について
- ・総曲輪三丁目地区市街地再開発事業について
- ・まちなかりフォーム補助事業について
- ・総曲輪西地区第一種市街地再開発事業について
- ・富山市マルチハビテーション推進事業について
- ・旧総曲輪小学校跡地活用事業について
- ・通学定期補助事業について

(ウ) 委員からの主な意見

コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査について

- ・都心地区は転入超過になっているが、マンションは投機目的や週末利用のために買うという話もある。実際に利用されるのであれば、富山の経済の活性化につながるのでもいいことだと思うが、まだまだ人が増えた実感がない。市に効果があるような形で、人がいっぱいいてにぎわうまちづくりを目指し努力されたい。
- ・今後もし可能であれば、実際に公共交通が理由で転入者が公共交通沿線居住推進地区を選んだのかといった調査もしていただきたい。

旧総曲輪小学校跡地活用事業について

- ・公共施設である地域包括ケア施設で、病児・病後児保育にしっかり取り組んでいただきたい。これからの子育ての幅広い分野に影響してくるので、一時的にそういう子どもの面倒を見るなど、少し門を広げていていただきたい。

通学定期補助事業について

- ・アンケートを行うときには、どういったことで地域とのかかわりを持ったかということや富山市内でどういったものを購入したかということも調査するべきである。

・新幹線の補助もいいが、市域が広い市になったので、市内交通の定期的補助もあわせて考えてはどうか。

(工) 委員会からの提言

都心地区や公共交通沿線地区への居住を誘導することで人口や市街地の拡散を抑えることは、人口減少・少子高齢社会を見据えた持続可能な都市の実現に向けて、理にかなうものである。事業者や市民向けの住宅整備等への補助や、質の高い景観づくり等により、本市の都心地区では転出超過から転入超過に転じるなど、その効果も如実に表れてきていると考えられる。

今後も効果を継続させていくためには、現在の事業の継続に加えて、詳細な現状分析が必要であり、他都市の事例の研究はもとより、転入者に対して、その理由や居住後の意見など、アンケートを実施し、その声を市の施策に反映させる等、より効果的な事業・施策について引き続き調査・研究されたい。

4 結びに

北陸新幹線の開業や市内電車環状線化事業の完了、南北接続を含む駅周辺整備や中心市街地整備等の事業に一定の見通しが立ってきたこと、また、政策の基本としてきた「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」の認知度が高まり、広く浸透し、国内外からも高く評価されるに至ったことなどから、本特別委員会の役割は達成されたと判断し、本特別委員会は調査を終了する。

しかしながら、まちづくり及び公共交通の整備・促進に係る事業は終期があるものではなく、市の将来像を描く上で重要な項目であることには変わらない。以降は建設委員会等で引き続き審議すべきものである。

(資料1) まちづくりと公共交通対策特別委員会開催経緯

No.	開催日	協議事項
1	平成18年9月25日	・正・副委員長あいさつ等
2	平成18年10月10日	・富山市公共交通活性化計画策定の取り組みについて ・市内電車環状線化計画について ・(仮称)賑わい横丁整備運営事業について
3	平成19年2月5日	・都市マスタープラン(素案)について ・市街地における高さ規制について ・富山市公共交通活性化計画について ・市内電車環状線化計画について ・中心市街地活性化基本計画について
4	平成19年5月30日	・市街地における高さ規制について ・八尾地区修景補助事業及び景観まちづくり推進区域の指定について ・グランドプラザ整備事業及び総曲輪通り南地区市街地再開発事業の進捗状況について
5	平成19年8月30日	・JR高山本線活性化社会実験について ・市内電車環状線化事業について
6	平成19年11月26日	・富山市景観形成基本計画(案)について ・市内電車環状線化事業について ・おでかけ電車社会実験の実施結果について ・公共交通でおでかけウィークエンド事業の実施結果について
7	平成20年5月20日	・コミュニティバス等の再編方針について ・富山地方鉄道上滝線活性化について ・富山駅南北一体的なまちづくりについて ・松川・いたち川等水辺空間活用方策検討懇話会について ・公共交通沿線居住推進事業対象地区の見直しについて
8	平成20年9月4日	・八尾地区の景観まちづくり推進区域の指定について ・環境モデル都市の指定について ・富山駅周辺の景観デザインの検討について ・市内電車環状線化事業について ・水辺空間賑わい創出事業について ・委員会視察について
9	平成20年11月26日	・屋外広告物規制の見直し方針について ・立山・大山地区の富山県景観づくり重点地域の指定について ・JR高山本線の利用促進の取り組み状況について ・市内電車環状線化デザインについて ・中心市街地での再開発計画の進捗状況について
10	平成21年2月24日	・富山駅周辺整備事業の進捗状況について ・富岩運河における学習支援船の運航について ・市街地再開発事業の進捗状況について ・中心市街地地区まちづくり交付金事業について ・市内電車環状線化事業の進捗状況について
11	平成21年6月9日	・景観計画の策定について ・平成20年度富山地方鉄道上滝線活性化基本調査結果について ・総曲輪ファッションビル(ウィズビル)の活用について ・市内電車環状線化事業について ・富山駅周辺地区土地区画整理事業の進捗状況について
12	平成21年8月31日	・市街化調整区域の地区計画運用基準の改定について ・八尾地区まち並み修景等整備事業補助対象区域の拡大について ・中心市街地活性化基本計画の進捗状況について ・富岩水上ラインの利用実績について
13	平成21年11月24日	・市内電車環状線化事業について
14	平成22年2月25日	・富山地方鉄道交通ICカードの導入について ・「まいどはやバス」の中央ルートにおけるルート変更社会実験と電気バスの実証運行について ・市内電車環状線の利用状況について ・富山駅周辺地区土地区画整理事業の進捗状況について

No.	開催日	協議事項
15	平成22年6月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・上滝線活性化基本計画について ・市街地再開発事業の進捗状況について
16	平成22年8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・高山本線活性化社会実験の実施状況について ・中心市街地活性化基本計画の進捗状況について ・まちなか居住推進事業の実施状況について
17	平成22年12月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・JR高山本線活性化について ・おでかけ定期券ICカード化について ・北陸新幹線富山駅デザインについて
18	平成23年2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・市内電車環状線化整備効果調査について ・公共交通利用促進啓発事業について ・富岩水上ラインの利用実績について ・北陸新幹線富山駅デザインについて
19	平成23年6月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・JR高山本線の平成22年度の利用状況について ・路面電車の利用促進について ・市街地再開発事業の進捗状況について ・富山駅周辺地区土地区画整理事業の進捗状況について
20	平成23年8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・不二越・上滝線の増発社会実験等について ・富山駅周辺地区土地区画整理事業の進捗状況について ・西町南地区市街地再開発事業について ・西町南地区公益施設（ガラス美術館・図書館本館）整備事業について
21	平成23年11月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・第2期富山市中心市街地活性化基本計画（案）について
22	平成24年2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県並行在来線経営計画概要（第1次）案について ・富山駅周辺地区土地区画整理事業の進捗状況について ・山室第2土地区画整理事業について ・富山市住生活基本計画（案）について ・市街地再開発事業の進捗状況について ・コンパクトなまちづくりに伴う人口動態について
23	平成24年6月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年度富山地方鉄道不二越・上滝線増便社会実験の結果について ・北陸新幹線整備事業について ・北陸新幹線富山駅について ・富山駅周辺地区土地区画整理事業について ・第1期中心市街地活性化基本計画の成果について ・山室第2土地区画整理事業について
24	平成24年6月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会視察について
25	平成24年8月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査について ・富山駅南口駅前広場等について ・富山駅自由通路等について ・西町南地区公益施設（ガラス美術館・図書館本館）の概要について
26	平成24年11月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模建築行為等の届出・助言指導実績について ・市街地再開発事業の進捗状況について ・公共交通沿線居住推進事業等の実施状況について
27	平成25年2月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県並行在来線について ・路面電車の南北接続事業について
28	平成25年6月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山駅周辺整備について ・総曲輪三丁目地区市街地再開発事業について
29	平成25年8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査について ・富山地方鉄道不二越・上滝線増便社会実験の実施について ・まちなかりフォーム補助事業の見直しについて
30	平成25年12月2日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山市における「都市計画区域」のあり方検討について ・JR高山本線婦中鵜坂駅の常設化について ・中町（西町北）停留場の利用状況について ・市街地再開発事業の進捗状況について
31	平成26年2月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・市内電車環状線の整備効果について ・北陸新幹線開業に向けての富山駅周辺整備事業について ・総曲輪西地区第一種市街地再開発事業について

No.	開催日	協議事項
32	平成26年6月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山高岡広域都市計画区域の区域区分（線引き）の見直しについて ・「富山でしかできないこと」事業について ・市街地再開発事業の進捗状況について ・平成26年度新規の主な調査関係業務について ①健康まちづくり推進事業について ②富山市コミュニティバス等の再編について ③富山駅南北自由通路等利活用社会実験について
33	平成26年8月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査について ・富山駅周辺整備事業の進捗状況について ・おでかけ定期券の利用状況について ・まちなかクリエイティブ産業立地促進事業補助金制度の創設について ・富山市マルチハビテーション推進事業の創設について ・市街地再開発事業の進捗状況について ・旧総曲輪小学校跡地活用事業の事業者募集について
34	平成26年11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・OECD・富山市「都市の国際ラウンドテーブル～高齢社会におけるレジリエントな都市～」の開催結果概要について ・とやまレールライフ・プロジェクトの取組みについて ・北陸新幹線開業に向けた富山駅周辺整備について ・山室第2土地区画整理事業の完了について
35	平成27年1月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線開業時における富山駅周辺の整備状況について
36	平成27年2月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・旧総曲輪小学校跡地活用事業に係る優先交渉権者の決定について
37	平成27年6月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）富山南都市計画区域について ・「富山における建築物に附置する駐車場施設に関する条例」の見直し（案）について ・コミュニティバス等再編アクションプランについて ・富山駅周辺整備スケジュール及び関連施設の利用状況について ・市街地再開発事業の進捗状況について
38	平成27年8月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山駅付近連続立体交差事業の今後のスケジュールについて
39	平成27年11月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山市中心市街地地区地区計画について ・コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査について ・高齢者健康増進端末機研究開発事業について
40	平成28年2月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山市立地適正化計画の策定状況について ・北陸新幹線開業前後における公共交通等の利用状況について
41	平成28年5月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山高岡広域都市計画区域の区域区分の見直しについて ・富山南都市計画区域の指定について ・富山市地域公共交通網形成計画の策定状況について ・富山駅の南西街区における水産物販売等社会実験について
42	平成28年11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査について ・立地適正化計画の策定状況について ・新富山市中心市街地活性化基本計画（案）について
43	平成29年4月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・正・副委員長の互選について ・所管事務調査について
44	平成29年5月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・まいどはやバスの運行の見直しについて ・富山駅周辺整備事業について
45	平成29年8月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物の是正状況について ・道路空間を活用した賑わい創出事業について
46	平成29年11月29日	<ul style="list-style-type: none"> ・大手モールフェス及びトランジットモールの社会実験について ・富山市公共施設マネジメントアクションプラン（素案）について
47	平成30年2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山市都市機能立地促進事業の創設について ・富山駅南西街区市有地活用事業者の公募について ・高齢社会における交通と健康モニタリング調査事業について ・富山市住生活基本計画の中間見直しについて
48	平成30年3月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・正・副委員長の互選について
49	平成30年5月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・富山市耐震改修促進計画の見直しについて
50	平成30年8月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・まいどはやバスの社会実験について ・通学定期補助事業の状況について
51	平成30年9月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員会視察について

No.	開催日	協議事項
52	平成30年11月29日	<ul style="list-style-type: none"> • コンパクトなまちづくりに伴う都市的指標調査について • 富山市都市マスタープランの見直しについて • 富山駅南西街区の利活用について • (株)富山市民プラザと(株)まちづくりとやまの統合について
53	平成31年1月29日	<ul style="list-style-type: none"> • まちづくりと公共交通対策特別委員会の見直しについて
54	平成31年2月21日	<ul style="list-style-type: none"> • まちづくりと公共交通対策特別委員会の調査報告書について

(資料2) まちづくりと公共交通対策特別委員会先進地視察経緯

No.	視察日程	視察先	視察項目
1	平成19年10月11日 ～12日	倉敷市	・倉敷駅周辺地区都市再生整備計画について
2		福山市	・福山駅周辺整備について
3	平成20年10月29日 ～31日	高知市	・高知駅周辺整備事業について ・公共交通活性化について
4		松山市	・公共交通整備事業について ・松山中央商店街について
5	平成21年10月14日 ～16日	鹿児島市	・鹿児島中央駅周辺整備事業について ・公共交通活性化について
6		熊本市	・熊本城を中心としたまちづくりについて ・熊本駅周辺整備事業について ・中心市街地活性化事業について
7	平成22年10月6日 ～8日	久留米市	・JR久留米駅周辺整備事業について
8		八代市	・肥薩おれんじ鉄道沿線地域の公共交通の活性化について
9	平成23年10月3日 ～5日	那覇市	・ゆいレールについて ・国際通りトランジットモール事業について ・レンタサイクルについて
10		沖縄市	・コザ・ミュージックタウンについて
11		糸満市	・糸満フィッシャリーナと美々ビーチいとまんについて
12	平成24年8月8日 ～10日	盛岡市	・いわて銀河鉄道について ・盛岡駅西口開発について
13		八戸市	・八戸市中心市街地活性化基本計画について ・八戸ポータルミュージアム「はっち」について
14		青森市	・新青森駅周辺整備計画について ・第2期青森市中心市街地活性化基本計画について ・青森駅を中心としたまちづくり基本計画について
15	平成25年10月7日 ～9日	長崎市	・九州新幹線（西九州ルート）開業に向けた取組みについて
16		久留米市	・九州新幹線を活用したまちづくりの取組みについて ・久留米駅周辺整備事業の今後の展開について
17	平成26年10月1日 ～3日	川越市	・川越市中心市街地活性化基本計画について ・中心市街地の酒造跡地の活用について
18		佐久市	・新幹線開業効果等について ・移住促進の取組みについて
19		長野市	・並行在来線の利用促進について ・長野駅善光寺口駅前広場について
20	平成27年11月4日 ～6日	仙台市	・「せんだいスマート」について ・仙台駅周辺地区交通結節機能の強化について
21		宇都宮市	・第2期宇都宮市中心市街地活性化基本計画について
22		高崎市	・高崎駅東口駅前広場再編整備事業について
23	平成29年11月20日 ～22日	札幌市	・市内電車のループ化について ・札幌駅前の活性化について
24		旭川市	・乗合タクシーについて
25	平成30年10月25日 ～26日	鎌倉市	・SDGs未来都市及び自治体SDGsモデル事業について ・観光の足と市民生活の足を共存させる公共交通のあり方について
26		小田原市	・地方再生コンパクトシティについて ・地方都市への交流人口を増加させる公共交通のあり方について